

生命環境科学科 4 年の井上和也さん 九州大学大学院 医学系学府医科学専攻に合格



生命環境科学科 4 年の井上 和也さん
(小倉西高出身)

本学の生命環境科学科 4 年の井上 和也さんが九州大学の大学院医学系学府医科学専攻修士課程に合格しました。

九州大学の医系の大学院（医学系学府）には、医科学専攻（修士課程）、医学専攻（博士課程）、保健学専攻（修士課程）、保健学専攻（博士後期課程）、医療経営・管理学（専門職学位課程）の 5 つの専攻があります。この九州大学大学院医学系学府は 4 年制以上の大学卒業者を対象に、将来基礎医学研究を担う研究者、高度専門職業人を育成する医科学専攻（修士課程）を平成 15 年からスタートさせています。

井上さんは高校の時から医薬品業界への就職をめざして、本学の生命環境科学科へ進み、勉学に励んできました。

しかし、薬を開発するにはやはり病気に関する知識や人体への知識が必須ではないかと思うようになりました。

そこで、今回、思い切って医学系学府の大学院への道をめざそうとステップアップを図りました。昨年の 2 月から目標をきちんと定めて勉強を始めました。本学に入ってから、授業はもちろんですが、FIT 隊としてアルバイトをしたり、3 度の海外留学や BIOMOD（国際生体分子デザインコンテスト）の世界大会へ参加したり、ポジティブな日々を過ごしてきた経験を十分に生かし、目標の大学院を 3 本に絞り、各大学院の情報を集め、自分の目で確かめながら、最終的には九州大学一本に絞りました。同級生が就職活動に奔走する中、井上さんは約 8 か月間、ひとり受験勉強に集中。試験は英語、専門知識、面接の三つでしたが、過去問の勉強はもちろんですが、「細胞生物学」という約 800 ページの本を暗記できるまでしっかりと読み込んだことが役に立ったそうです。

なかでも DNA についての各章については本学生命環境科学科の専門授業で学んだことが大変役に立ち、理解を早め、深くしてくれました。井上さんは「もし私に続く後輩がいれば、大学での色々な経験を面倒くさらず、前向きに向き合いチャレンジしていくことをアドバイスしたいです。きっと自分のやりたいことが見つかるはずですよ。」と語ってくれました。

井上さんの将来の目標は「新しい癌の治療薬の開発」だそうです。福工大で学び、九州大学大学院で学ぶ、時代をリードする新しい分野の人材の誕生に大いに期待しましょう。



この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-318
3月15日～31日